

講義Ⅰ

他人発の情報の読解

論述・作文A

第14回

この講義で学ぶこと

- **他人発の情報の読解**

- 自分の「考え」や「印象」をただ書き出すだけではレポートではなく感想文になってしまう。
- 読み手を論理的に納得させるために、他人発の情報を正確に読解し、自分の文章の中で適切に示す方法を学ぼう。

他人発の情報

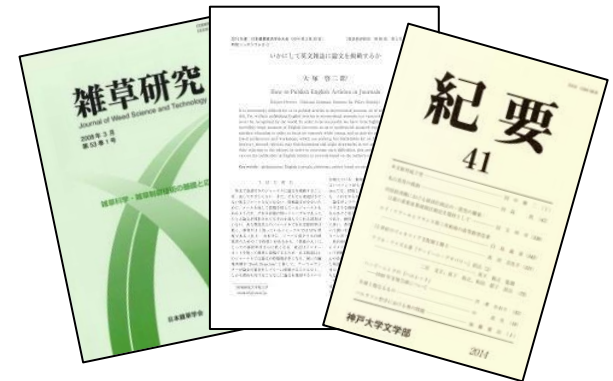
- 新聞や雑誌、書籍、学術論文、またはウェブ上でオフィシャルに発信されている記事やデータなどの信頼性の高い情報を使う。



新聞記事の例



専門雑誌の例



学術雑誌・論文の例

- レポートなどの論説文を書く際は、自分の曖昧な知識や心象だけで論じてはいけない。

説得力のある文章

- 文章に説得力を持たせるためには他人発の情報を使って、事実や意見を分析して示す。

たとえば・・・

- 「運転免許は75歳になった時点で法的に返納を義務付けるべきだ」と主張したいとき、
- なぜそうすべきなのかという理由を説明する必要がある。

説得力のある文章

- 「運転免許は75歳になった時点で法的に返納を義務付けるべきだ」という主張の理由（論拠）として、
 - a. 高齢運転者による死亡事故が多く発生している。
（情報源なし）
 - b. 内閣府（2017）によると、75歳以上の運転者の死亡事故件数は、75歳未満の運転者と比較して、免許人口10万人当たりの件数が2倍以上多く発生しているという。
- a と b どちらが説得力があるだろうか。

他人発の情報を使いこなす

- 他人発の情報を使いこなし、文章に説得力を持たせるには文献を正確に読解する必要がある。

事実と意見

- 他人発の情報には「事実」と「意見」がある。
- **事実**:内閣府(2017)によると、75歳以上の運転者の死亡事故件数は、75歳未満の運転者と比較して、免許人口10万人当たりの件数が2倍以上多く発生しているという。
- **意見**:75歳以上の運転者を対象にした認知機能検査が強化されているが、この検査だけですべての事故が防げるわけではないと清永(2019)は指摘する。
- レポートでは事実・意見、どちらの他人発の情報も使う。

演習

「他人発の情報の読解」に取り組む

- 問題の背景
 - JR北海道は収益が悪化しているので、現在の鉄道路線すべてを維持することはできないことを公表している。
- この問題について、AさんとBさんは研究レポートで以下の主張を述べることにした。
 - Aさん「現在の鉄道路線を**維持すべき**」
 - Bさん「鉄道路線を廃止し、他の交通手段へ**転換すべき**」

演習

- 事前配信教材：演習プリントに、この問題についての他人発の情報が6点紹介されている。
- それぞれ、路線維持派のAさん、路線廃止派のBさん、どちらの主張を支持する論拠として使えるだろうか。

演習

- 解答方法
 - まず、6点の他人発の情報それぞれが事実か、意見か、正しいと思うほうに○をつける。
 - 次に、路線維持の主張を支持する情報なら「維持」に、路線廃止の主張を支持する情報なら「廃止」に○をしよう。
- 読解方法
 - 読みながらキーワードを見つけ、蛍光ペンなどでマークしよう。

正解

1. 事実・廃止

4. 意見・廃止

2. 事実・廃止

5. 意見・維持

3. 意見・維持

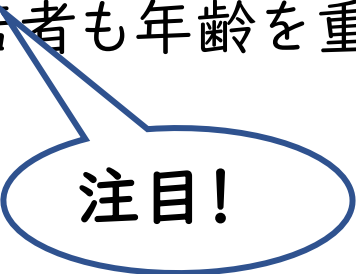
6. 事実・維持

意見の読解のポイント: 接続詞

- ある問題に対して賛成か反対かが読み取りにくい場合は、接続詞（つなぎの言葉）に注目しよう。

意見の読解のポイント：接続詞

- 5. 道民の皆さんは「高速道路があれば鉄路はなくてもいい」と考えていないだろうか。欧州にも、そうした意見が主流を占めた時期があった。しかし、高速道路ができれば車は街を素通りしてしまうし、車好きの若者も年齢を重ねれば運転できなくなる。



注目！

- 5.には維持か廃止かの主張は書かれていない。
- しかし「鉄路はなくてもいい」（廃止）の流れから逆接の接続詞「しかし」につながるので、維持を主張していると読解できる。

演習の参照文献

1. 堀田昭一(2021)「JR北海道の全線区、赤字最悪841億円
20年度 道新幹線は144億円」『北海道新聞』2021年6
月7日朝刊.
2. 杉浦泰隆・徳留弥生・吉川幸佑(2021)「道北の鉄路、再起
見通せず 長引くコロナ禍、誘客策は次々中止 収支悪化
「衝撃的な数字」」『北海道新聞』2021年6月15日朝刊.
3. 川村湊(2018)「川村湊が掘る:JR赤字路線問題*鉄道そ
のものが文化遺産」『北海道新聞』2018年1月19日朝
刊.
4. 徳永仁(2017)「シリーズ評論:「維持困難路線」公表1年
4*神戸大学大学院教授 正司健一氏(62)*見直し議
論 道の主導で」『北海道新聞』2017年11月14日朝刊.
5. 拝原稔(2017)「シリーズ評論:「維持困難路線」公表1年2
*関西大教授 宇都宮浄人氏(56)*複数の移動手段保
証を」『北海道新聞』2017年11月9日朝刊.
6. 拝原稔(2017)「シリーズ評論:「維持困難路線」公表1年2
*関西大教授 宇都宮浄人氏(56)*複数の移動手段保
証を」『北海道新聞』2017年11月9日朝刊.